

特記仕様書（建築改修工事編）			
I 工事概要	1. 工事場所	高知県高知市野市町西野2072-4	(都市計画区域 内・外)
	2. 敷地面積	2360.18 m ²	
	3. 構造・規模	木造 1階	
	4. 建築面積	557.82 m ²	
	6. 主要用途	児童福祉施設	
II 建築改修工事仕様	1. 共通仕様		
	(1)	図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下、「標準仕様書」という）による	
	(2)	電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備改修工事の仕様書は()図、機械設備改修工事の仕様書は()図による。	
	(3)	受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な書類等（報告書等）を用意すること。	
	2. 特記仕様		
	(1)	項目は、番号に○印の付いたものを適用する。	
	(2)	特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。	
	(3)	特記事項に記載の[. . .]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
	(4)	特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
	(5)	[G]印は、「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特記調達品目を示す。判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。	
	(6)	標準仕様書又は改修標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。	

1 各章共通事項

① 通用基準及び区分	<ul style="list-style-type: none"> ※ 建築工事監理指針（上下巻） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和7年版） ※ 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和7年版） ・ 鉄骨設計標準図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 ・ 鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編） ※ 建設副産物適正処理推進要綱 ※ 建築材料等評価名簿 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 ※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 <p>・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。 区分等 基準風速 Vo=()m/s 地表面粗度区分(・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 積雪区分 建設省告示第1455号 別表()</p>										
2 電気保安技術者	・適用する ・適用しない [1.3.3]										
③ 施工条件	施工時間帯 ・指定なし ○指定有り（協議による） [1.3.5] 部位別の施工順序 ※指定なし ・指定有り（ ）										
④ 工事安全計画書	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画 [1.3.7]書を監督職員に提出する。										
⑤ 発生材の処理	<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡しを要するもの() [1.3.12] ・特定管理産業廃棄物（種類： 処理方法： ） ・現場において再利用を図るもの() ・再生資源化を図るもの(・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材) ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。										
6 アスベスト成形板の処理等	処理を行うアスベスト成形板の仕様 ・石綿スレート ・石綿セメント板 ・けい酸カルシウム板 ・ロックウール化粧吸音板 ・ビニル床タイル ・その他 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認 図面に記載されている使用範囲のみならず、広く確認を行う。 (2) アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認 (3) アスベスト成形板使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認										
7 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策	※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（VOC）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象建築材料等</th> <th>使用制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 合板、木質フローリング、構造用合板、集成材、単板積層板、MDF、パーティクルボード、ウレタン樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材</td> <td>F☆☆☆☆又は同等の大気認定品とする</td> </tr> <tr> <td>② 塗料</td> <td>ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする</td> </tr> <tr> <td>③ 木材保存剤（防蟻処理、防蟻処理等）</td> <td>クロピリリクス、ダイアジン、フェノキサールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する</td> </tr> <tr> <td>④ 内装用接着剤、木工用接着剤</td> <td> 1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする </td> </tr> </tbody> </table>	対象建築材料等	使用制限	① 合板、木質フローリング、構造用合板、集成材、単板積層板、MDF、パーティクルボード、ウレタン樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大気認定品とする	② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする	③ 木材保存剤（防蟻処理、防蟻処理等）	クロピリリクス、ダイアジン、フェノキサールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する	④ 内装用接着剤、木工用接着剤	1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする
対象建築材料等	使用制限										
① 合板、木質フローリング、構造用合板、集成材、単板積層板、MDF、パーティクルボード、ウレタン樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大気認定品とする										
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする										
③ 木材保存剤（防蟻処理、防蟻処理等）	クロピリリクス、ダイアジン、フェノキサールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する										
④ 内装用接着剤、木工用接着剤	1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする										

⑤ 家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する																																																																																								
⑥ 材料の品質等	室内に関わる材料は（上記①～⑤及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、クロピリリクス、ダイアジン、フェノキサールの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。 [1.4.2] 本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）から6）の事項を満たすものとする 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること 3) 安定的な供給が可能であること 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品及び同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受けること。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を、監督職員に提出する。																																																																																								
9 施工数量調査	調査項目 ・防水改修 ・外壁改修 ・() [1.5.2] 調査範囲 ※図示 調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・図示 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。 また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する。 （必要に応じ写真等を添付する）																																																																																								
10 調査のための破壊部分の補修	既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 [1.5.3]																																																																																								
⑩ 技能士	[1.7.2]																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技能検定作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>防水施工</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シリコン防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 </td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>樹脂接着剤 注入施工</td> <td>・樹脂接着剤注入工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>サッシ施工</td> <td>・ビニルサッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス施工</td> <td>・ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自動ドア施工</td> <td>・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>建築大工</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内装仕上施工</td> <td>・鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内装仕上施工</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・カーペット仕上げ工事作業 ・化粧フィルム工事作業 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>熱絶縁施工</td> <td>・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表装</td> <td>・壁装作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>塗装</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>・鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>型枠施工</td> <td>・型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄工</td> <td>・構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>環境配慮改修工事</td> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路面表示施工</td> <td>・溶融ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマーカ工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>造園</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> <tr> <td>ガラス工事</td> <td>フィルム張り</td> <td>○ガラス用フィルム施工技能士</td> </tr> <tr> <td>12 室内空気中の化学物質の濃度測定</td> <td> 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を [1.7.9]測定し、報告すること 測定対象室及び測定箇所数 ・2箇所 </td> </tr> <tr> <td>⑬ 完成時の提出図書</td> <td> ※完成図（作成範囲 ※配置図 ※各階平面図 ※各立面図 ※断面図 ※仕上表） ※完成図（CADデータの提出 ※する（CD-R） ・しない） ※記入内容は標準仕様書（表1.7.1）による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 ※施工計画書（A4ファイル綴じ 提出部数：1部） ※施工図（CADデータ 提出部数：1部） ※竣工図（提出部数 ※A2版 2部 A3版 3部） ※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・部） </td> </tr> </tbody> </table>	工事種目	技能検定職種	技能検定作業の種別	仮設工事	とび	・とび作業	防水改修工事	防水施工	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シリコン防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 	外壁改修工事	建築板金	・内外装板金作業		樹脂接着剤 注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業		左官	・左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	建具改修工事	サッシ施工	・ビニルサッシ施工作業		ガラス施工	・ガラス工事作業		自動ドア施工	・自動ドア施工作業	内装改修工事	建築大工	・大工工事作業		内装仕上施工	・鋼製下地工事作業		建築板金	・内外装板金作業		内装仕上施工	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・カーペット仕上げ工事作業 ・化粧フィルム工事作業 		熱絶縁施工	・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業		表装	・壁装作業		左官	・左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	塗装改修工事	塗装	・建築塗装作業	耐震改修工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業		型枠施工	・型枠工事作業		コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業		鉄工	・構造物鉄工作業		とび	・とび作業	環境配慮改修工事	配管	・建築配管作業		路面表示施工	・溶融ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマーカ工事作業		造園	・造園工事作業	ガラス工事	フィルム張り	○ガラス用フィルム施工技能士	12 室内空気中の化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を [1.7.9]測定し、報告すること 測定対象室及び測定箇所数 ・2箇所	⑬ 完成時の提出図書	※完成図（作成範囲 ※配置図 ※各階平面図 ※各立面図 ※断面図 ※仕上表） ※完成図（CADデータの提出 ※する（CD-R） ・しない） ※記入内容は標準仕様書（表1.7.1）による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 ※施工計画書（A4ファイル綴じ 提出部数：1部） ※施工図（CADデータ 提出部数：1部） ※竣工図（提出部数 ※A2版 2部 A3版 3部） ※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・部）
工事種目	技能検定職種	技能検定作業の種別																																																																																							
仮設工事	とび	・とび作業																																																																																							
防水改修工事	防水施工	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シリコン防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 																																																																																							
外壁改修工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																							
	樹脂接着剤 注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業																																																																																							
	左官	・左官作業																																																																																							
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																							
建具改修工事	サッシ施工	・ビニルサッシ施工作業																																																																																							
	ガラス施工	・ガラス工事作業																																																																																							
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業																																																																																							
内装改修工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																							
	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業																																																																																							
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																							
	内装仕上施工	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・カーペット仕上げ工事作業 ・化粧フィルム工事作業 																																																																																							
	熱絶縁施工	・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業																																																																																							
	表装	・壁装作業																																																																																							
	左官	・左官作業																																																																																							
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																							
塗装改修工事	塗装	・建築塗装作業																																																																																							
耐震改修工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業																																																																																							
	型枠施工	・型枠工事作業																																																																																							
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業																																																																																							
	鉄工	・構造物鉄工作業																																																																																							
	とび	・とび作業																																																																																							
環境配慮改修工事	配管	・建築配管作業																																																																																							
	路面表示施工	・溶融ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマーカ工事作業																																																																																							
	造園	・造園工事作業																																																																																							
ガラス工事	フィルム張り	○ガラス用フィルム施工技能士																																																																																							
12 室内空気中の化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を [1.7.9]測定し、報告すること 測定対象室及び測定箇所数 ・2箇所																																																																																								
⑬ 完成時の提出図書	※完成図（作成範囲 ※配置図 ※各階平面図 ※各立面図 ※断面図 ※仕上表） ※完成図（CADデータの提出 ※する（CD-R） ・しない） ※記入内容は標準仕様書（表1.7.1）による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 ※施工計画書（A4ファイル綴じ 提出部数：1部） ※施工図（CADデータ 提出部数：1部） ※竣工図（提出部数 ※A2版 2部 A3版 3部） ※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・部）																																																																																								

⑭ 工事写真・完成写真	※下記のを監督職員に提出する。工事写真については、隠蔽となる部分は全て写すこと。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類規格</th> <th>提出部数</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工前及び工事中</td> <td>カラー ※サービス版</td> <td>1枚</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>カラー ※キャビネ版</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>完成時</td> <td>カラー ・全紙版（A3額縁入）</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> </tbody> </table> デジタル写真も可とし、その仕様も含め1適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックを参照すること。 ・デジタルカメラで撮影された工事写真（CD-R共提出） ※上記の他、完成写真内外6面程度（カラーサービス版）、及びその画像データ（JPEG形式で200万画素程度）を完成検査時に1部提出する。	区分	分類規格	提出部数	部数	着工前及び工事中	カラー ※サービス版	1枚	1部		カラー ※キャビネ版	枚	部	完成時	カラー ・全紙版（A3額縁入）	枚	部		・	枚	部																	
区分	分類規格	提出部数	部数																																			
着工前及び工事中	カラー ※サービス版	1枚	1部																																			
	カラー ※キャビネ版	枚	部																																			
完成時	カラー ・全紙版（A3額縁入）	枚	部																																			
	・	枚	部																																			
15 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。																																					
16 見本施工	・行う（内容） ※行わない																																					
⑰ 施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																					
18 設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工範囲</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁貫通部の補強</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>梁貫通部のスリーブ</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>自動閉閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、ドアヒンジ</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強</td> <td>仮枠 補強</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> </tbody> </table>	施工範囲	区分	梁貫通部の補強	※本工事 ・別途工事	梁貫通部のスリーブ	・本工事 ※別途工事	自動閉閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、ドアヒンジ	※本工事 ・別途工事	天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強	※本工事 ・別途工事	軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地	・本工事 ※別途工事	埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠 補強		・本工事 ※別途工事	照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート	※本工事 ・別途工事	電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）	※本工事 ・別途工事																	
施工範囲	区分																																					
梁貫通部の補強	※本工事 ・別途工事																																					
梁貫通部のスリーブ	・本工事 ※別途工事																																					
自動閉閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、ドアヒンジ	※本工事 ・別途工事																																					
天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強	※本工事 ・別途工事																																					
軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地	・本工事 ※別途工事																																					
埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠 補強																																					
	・本工事 ※別途工事																																					
照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート	※本工事 ・別途工事																																					
電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）	※本工事 ・別途工事																																					
19 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてリフトカット機による																																					
2 仮設工事	① 足場その他 足場を設ける場合、改修標準仕様書2.2.1によるほか、設置においては、「手すり先行工法に関するガイドライン」別紙1（手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準）における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 [2.2.1] 外部足場に設ける防護シート等 ・養生シート※JISA8952のI類に適合するもの （建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの） ・防音シート ・探光防音シート ・養生ネット ② 既存部分の養生 既存部分の養生方法 ※ビニルシート等（合板） 既存家具等の養生方法 ※ビニルシート等（ ） 既存ブライント、カーテン等の養生方法及び保管場所 ・図示（ ） 固定された備品、机・ロカ等の移動 ・行う（図示： ）																																					
3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材（厚さ mm）</th> <th>充てん材</th> <th>塗装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・A種</td> <td>・木下地</td> <td>※せっこうボード（※9.5・ ）</td> <td>厚さ mm</td> <td>・片面</td> </tr> <tr> <td>※軽量鉄骨</td> <td>・合板（※9.0・ ）</td> <td></td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・B種</td> <td>・木下地</td> <td>※せっこうボード（※9.5・ ）</td> <td></td> <td>・片面</td> </tr> <tr> <td>※軽量鉄骨</td> <td>・合板（※9.0・ ）</td> <td></td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管下地</td> <td>防災シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・仮設扉</td> <td>※木製扉</td> <td>※合板張り程度</td> <td></td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td>・鋼製扉</td> <td>※片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・有り</td> </tr> </tbody> </table>	種別	下地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗装	・A種	・木下地	※せっこうボード（※9.5・ ）	厚さ mm	・片面	※軽量鉄骨	・合板（※9.0・ ）		※無し	・B種	・木下地	※せっこうボード（※9.5・ ）		・片面	※軽量鉄骨	・合板（※9.0・ ）		※無し	※C種	単管下地	防災シート			・仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り
種別	下地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗装																																		
・A種	・木下地	※せっこうボード（※9.5・ ）	厚さ mm	・片面																																		
	※軽量鉄骨	・合板（※9.0・ ）		※無し																																		
・B種	・木下地	※せっこうボード（※9.5・ ）		・片面																																		
	※軽量鉄骨	・合板（※9.0・ ）		※無し																																		
※C種	単管下地	防災シート																																				
・仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し																																		
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り																																		
4 監督職員事務所	・設ける [2.4.1] ・構内に新設する（規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書（施工条件明示）による） ・既存建物内の一部を使用する（場所） ※設けない																																					
⑮ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できる（ ※有償 ・無償） ・利用できない																																					
⑯ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できる（ ※有償 ・無償） ・利用できない																																					
3 防水改修工事	① 降雨等に対する養生方法（とい共） ※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による ・() [3.1.3] 2 既存防水の処理 既存保護層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） [3.2.3] 既存防水層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） [3.2.4] 立上り部の防水層撤去 ・行う（ ・POS ・POS1 ・M4S [表3.1.1] ・M4S1 ・S4S ・S4S1） 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 [3.2.6] ・行う（ ・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X）																																					
3 既存下地の処理	既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ・図示 ・() [3.2.6]																																					
特記仕様書（建築改修工事編）（1）																																						
ご第08033号 子育て支援センターガラスフィルム増設2期工事																																						
製図 図番 A-01																																						

4 7スファルト防水	押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0 (mm) () [3.3.2]					
	屋根保護防水 [3.3.2~5][表3.1.1][表3.3.3~6]					
	工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護
	・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え
	・P1B	・B-1 ・B-2 ・B-3				
	・P2A1	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3	厚さ 25mm		※フラットシート 70g/㎡程度	
	・P1B1	・B1-1				
	・T1B1	・B1-2 ・B1-3				
	屋根露出防水 [3.3.2~3][表3.1.1][表3.3.7~9]					
	工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	備考	
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4					
・M3D	・D-1			脱気装置	・設ける	
・POD	・D-2 ・D-3 ・D-4			改修用ドレン	・設ける	
・PODI	・DI-1		種類	脱気装置	・設ける	
・M3DI	・DI-2		厚さ 25mm	改修用ドレン	・設ける	
・M4DI						
脱気装置の種類及び設置数量 ※7スファルトシート類の製造所の指定による (種類: 、数量 個/㎡)						
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン周り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 () 図示						
屋内防水 [3.3.2~3][表3.1.1][表3.3.10]						
工法	種別	施工箇所	備考			
・P1E	・E-1 (工程3・行う)		保護層 設ける			
・P2E	・E-2					
屋上排水溝 適用する [3.3.5]						
5 改質7スファルトシート防水	押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0 (mm) () [3.4.2]					
	断熱材 [G] (ASI-T1、ASI-J1の場合) 種類 () 厚さ 25mm () [3.4.2~3][表3.1.1][表3.4.1~3]					
	工法	種別	施工箇所	材質	厚さ(mm)	備考
	・M4AS	・AS-T1		下層用 ※非露出複層防水用 R種		
				上層用 ※露出複層防水用 R種		
		・AS-T2		※露出単層防水用 R種		
		・AS-J2		※露出単層防水用 R種		
	・M3AS	・AS-T3		下層用 ※非露出複層防水用 R種		脱気装置 ・設ける
	・POAS			上層用 ※露出複層防水用 R種		改修用ドレン ・設ける
		・AS-T4		※露出単層防水用 R種		
	・AS-J1		下層用 ※非露出複層防水用 R種			
			上層用 ※露出複層防水用 R種			
	・AS-J3		※露出単層防水用 R種			
・M3ASI	・ASI-T1		下層用 ※非露出複層防水用 R種		脱気装置 ・設ける	
・M4ASI			上層用 ※露出複層防水用 R種		改修用ドレン ・設ける	
・POASI						
	・ASI-J1		下層用 ※非露出複層防水用 R種			
			上層用 ※露出複層防水用 R種		防湿用シート ・設ける	
脱気装置の種類及び設置数量 ※改質7スファルトシートの製造所の指定による (種類: 、数量 個/㎡)						
絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート () [3.5.2]						
断熱材 [G] (S1-F1、S1-F2、S1-M1、S1-M2の場合) 種類 () 厚さ 25mm () [3.5.2~3][表3.1.1][表3.5.1~2]						
工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	分類	仕上塗料	備考
・POS	・S-F1		※1.2	※非歩行	・カラー	脱気装置
・S4S	・S-F2		※2.0	※1.5	・シルバー	・設ける
	・S-M1		※1.5			
	・S-M2		※1.5			改修用ドレン
	・S-M3		※1.2			・設ける

⑦ 塗膜防水	・S3S	・S-F1 ・S-F2	※1.2 ※2.0	※非歩行 ・軽歩行	・カラー ・シルバー	脱気装置 ・設ける	
	・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	※1.5 ※1.5 ※1.2	※非歩行 ・軽歩行	・カラー ・シルバー	脱気装置 ・設ける	
	・POSI	・SI-F1	※1.2	※非歩行	・カラー	脱気装置	
	・S3S1	・SI-F2	※2.0	※非歩行	・シルバー	改修用ドレン	
	・S4S1	・SI-M1	※1.5			・設ける	
	・M4S1	・SI-M2	※1.5				
	脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフシートの製造所の指定による (種類: 、数量 個/㎡)						
	防湿用フィルムの設置 (S1-M1、S1-M2の場合) 適用する						
	屋内防水 [表3.5.3]						
	工法	種別	施工箇所	備考			
屋内保護	・S-C1		工程4のモルタルの塗厚 mm				
密着工法							
既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合 (接着工法) [3.5.4]							
目地処理 行う (工法)							
増張り 行う (S-F1、S1-F1の場合)							
[3.6/3][表3.1.1][表3.6.1~2]							
工法	種別	施工箇所	備考				
・POX	※X-1		脱気装置 設ける				
⑧ SOL	※X-2	図示	改修用ドレン 設ける				
・L4X	・X-1 ・X-2		脱気装置 設ける				
・P1Y	※Y-2		保護層 設ける				
・P2Y	※Y-2		保護層 設ける				
脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による (種類: 、数量 個/㎡)							
シーリング改修工法の種類 [3.1.4][表3.1.2]							
・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法							
・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法							
シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2][表3.1.2][表3.7.1]							
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。							
施工箇所		シーリング材の種類(記号)					
図示		図示					
シーリング面への仕上塗材仕上げ等 行う 行わない							
ブリッジ工法 ボンドプレーカー張り 適用する [3.7.7]							
エッジング材張り 適用する							
接着性試験 ※簡易接着性試験 引張接着性試験(部位) [3.7.8]							
とこの材種 配管用銅管 [3.8.2][表3.8.1]							
・硬質ポリ塩化ビニル管 (※RF-VP [G] ・VP)							
()							
ルーフドレン							
種類		材種		施工箇所			
・ろく屋根用(・縦型・横型)							
・バルコニー用							
・バルコニー中継用							
防露材の剥離防止の放散量							
※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による							
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 () 図示 [3.8.3]							
種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・板材折曲げ形)							
・シール形式(板材折曲げ形) [3.9.2][表3.9.1][表5.2.2]							
板材折曲げ形の場合 本体幅(mm) 板厚(※2.0mm)							
役物 適用する							
表面処理 種別 ・AB-1種又はBB-1種 ・BB-2							
着色 ・標準色 ・特注色							
工法 [3.9.3]							
既存笠木等の撤去 行う (範囲) 図示							
下地補修の工法 () 図示							
板材折曲げ形の笠木の取付方法 () 図示							
期間は () 年とし、請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。							

⑧ シーリング

9 とい

10 7スファルト製笠木

11 防水保証期間

4 外壁改修工事(共通事項)	1 ⑨ リマセメントモルタル	合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等 [4.2.2]				
	曲げ強さ (N/mm ²)		圧縮強さ (N/mm ²)		接着強さ (N/mm ²)	
	6.0以上	20.0以上	標準時	湿潤時	低温時	
			1.0以上	0.8以上	0.5以上	
	表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。					
	透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。					
	均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					
	ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルジョンは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。					
	[4.2.2]					
	2 ⑨ リマセメントスラリー	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)
	3以上	3	0.5以上	5.0以上	15以下	0.5以上
保水係数 0.35~0.55						
粘調係数 0.50~1.00						
3 既調合モルタル	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。					
[4.2.2]						
	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強さ (N/mm ²) ※試験箇所全て	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)	
	70.0以上	1.80以上	標準時	湿冷繰り返し後		
			0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上
[4.2.2]						
4-1 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)	1 ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]				
	種類		ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		0.2以上~1.0未満	※200~300	※130	
	・手動式エポキシ樹脂注入工法		0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	
	・機械式エポキシ樹脂注入工法		0.3以上~0.5未満	※100~200	※70	
			0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	
	エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形					
	ひび割れ部の注入状況の確認方法 ※コア抜き検査(抜取り部の補修方法:)					
	・Uカットシール材充填工法 [4.2.2][4.3.5]					
	・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 () ポリマーセメントモルタルの充填 行う					
・可とう性エポキシ樹脂						
・シール工法 [4.2.2][4.3.6]						
・パテ状エポキシ樹脂						
・可とう性エポキシ樹脂						
2 欠損部改修工法	※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]					
・エポキシ樹脂モルタル						
・ポリマーセメントモルタル						
4-2 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁)	1 ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]				
	種類		ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		0.2以上~1.0未満	※200~300	※130	
	・手動式エポキシ樹脂注入工法		0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	
	・機械式エポキシ樹脂注入工法		0.3以上~0.5未満	※100~200	※70	
			0.5以上~1.0未満	※150~250	※130	
	エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形					
	ひび割れ部の注入状況の確認方法 ※コア抜き検査(抜取り部の補修方法:)					
	・Uカットシール材充填工法 [4.2.2][4.3.5]					
	・シーリング材充填 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 () ポリマーセメントモルタルの充填 行う					
・可とう性エポキシ樹脂						
・シール工法 [4.2.2][4.3.6]						
・パテ状エポキシ樹脂						
・可とう性エポキシ樹脂						
特記仕様書(建築改修工事編)(2)						
ご第08033号 子育て支援センターがらみ増設2期工事						
製図		図番 A-02				

6 網戸等	[5.2.3]			
	種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm	
7 樹脂製建具	性能値等 [5.2.2][5.3.2~5][表5.3.1]			
	・外部に面する建具の性能等級 ・A種(S-4, A-4, W-4) (建具符号:) ・B種(S-5, A-4, W-5) (建具符号:) ・C種(S-6, A-4, W-5) (建具符号:) ・屋内の建具の性能等級 () 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 外部に面する建具 ・T-A種 ・T-B種 [5.3.2][表5.3.2] 断熱ドアセット・断熱サッシ [G] ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 外部に面する建具 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 [5.3.2][表5.3.3] 枠の見込み寸法 ・ () ・図示 ガラス ※複層ガラス ・ () [5.3.3] 表面色 ※標準色 ・特注色 [5.3.4] 水切り板、ぜん板 ・ () ・図示 [5.3.5]			
8 鋼製建具	性能値等 [5.2.2][5.4.2]			
	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:) 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 [表5.2.1] 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ [G] ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:)			
9 鋼製軽量建具	性能値等 [5.2.2][5.5.2]			
	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:) 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ [G] ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:) 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 [5.5.3] 召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ステンレス ・アルミニウム			
10 ステンレス製建具	性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2]			
	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:) 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 [表5.2.1] 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号:) 断熱ドアセット・断熱サッシ [G] ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号:) 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:) 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・ () [5.6.4] ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ [5.6.5]			
11 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 ・ () (16.7.2)			
	建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 (16.7.2) ※規制対象外 ・三種 ・フラッシュ戸 (16.7.2~4) ・かまち戸 かまち樹種 (桧) 鏡板樹種 (桧) (16.7.2~4) ・ふすま 種別 (・I型 ・II型) (16.7.2~4) ・ふすま紙上張り (押入等の裏側以外) (・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度) 縁仕上げ (・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリアー塗装)) ・戸ぶすま (16.7.2~4) ・紙張り障子 (16.7.2~4) 枠及びくつずりの材料 ・ () ・図示 (16.7.2)			
12 鍵	マスターキー ・製作する ・製作しない [5.7.4]			
	その他の鍵 鍵箱 ※各室3本1組 ※無 ・有			
13 自動ドア開閉装置	自動ドア開閉装置の性能値等 [5.8.2~3][表5.8.1~4]			
	種類	防錆	検出装置の種類	凍結防止装置
・引き戸用駆動装置	・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2	・適用する	・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー	・行う (適用箇所は建具表による)
・多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置		・適用しない	・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ	・行わない
14 自閉式上り引戸装置	性能 ※改修標準仕様書5.9.1による ・ () [5.9.3][表5.9.1]			
	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m ² [5.10.2]			
15 重量シャッター	シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m ² [5.10.2]			
	・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m ² ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2][表5.10.1] 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない [5.10.2] スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ()			

16 軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1]			
	耐風圧強度 () N/m ² スラット 形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.3~4] ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融55%7μmニッケル-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90)			
17 オナーヘッドドア	[5.12.2~3]			
	セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※ステールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	
耐風圧性能による区分 (・125 ・100 ・75 ・50) Pa				
18 ガラス	・合わせガラス [5.13.2]			
	品 種	構成種類	特性による種類	
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・I類		
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類 ・III類		
・強化ガラス [5.13.2]				
品 種	種 類	特性による種類		
※フロートガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類 ・III類		
・型板ガラス	※型板強化ガラス			
・熱線吸収板ガラス [5.13.2]				
品 種	特性による種類	色 調		
※熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収 網入磨き板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ		
・複層ガラス [5.13.2]				
品 種	断熱性	日射取得性、日射遮蔽性	乾燥気体の種類	
・断熱複層ガラス ・日射熱遮へい複層ガラス	・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6	・G ・S	・空気 ・アルゴン	
・熱線反射ガラス [5.13.2]				
品 種	日射熱遮へい性	耐久性	ガラスの種類	
※熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	・1種 ・2種 ・3種	A種 B種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー	
反射皮膜面 ※内面 ・外面 映像調整 ※行わない ・行う	[5.13.4]			
・倍強度ガラス [5.13.2]				
材料板ガラスによる種類の名称 色 調				
※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ			
・ガラスの留め材及び溝の大きさ [5.13.2~3][図5.13.1]				
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)		
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示		
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材			
ステンレス製	※シーリング材			
樹脂製	・シーリング材 ・ガasket ・グレイジングチャンネル形			
19 ガラス用フィルム	名 称 種 類 張り面 性能値			
	※図示	第2種	図示	飛散防止率 D1
品質 JIS A5759による [5.13.5]				
表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調 カ7 乳白	
正方形	・125×125	80	・ ・ ※8~15	
	・160×160	・95・125	・ ・ ※15~25	
	・200×200	・95・125	・ ・	
長方形	・320×320	95	・ ・	
	・250×125	80	・ ・	
・320×160	95	・ ・		
曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示) 化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材 質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸 法 ・図示 ・ () 形 状 ・図示 ・ ()				
21 付属電気設備	電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する。			

6 内装改修工事	1 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]			
		※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 〇 図示			
2 既存床の撤去、下地補修	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 [6.1.3]				
	※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示				
3 既存壁の撤去、下地補修	既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・ 図示 [6.1.3]				
	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2]				
4 木下地等 [G]	合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 [6.2.2]				
	改修後の床の清掃範囲 () ・ 図示 [6.2.2]				
5 木材 [G]	ポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタル [4.2.2][6.2.2]				
	改修標準仕様書4.2.2.(4)(7)及び(イ)による				
6 製材 [G]	間伐材等の適用 ・使用する(使用箇所) [6.5.2][表6.5.3]				
	木材の含水率 ※A種 ・B種 (以降の表に記載のある場合はその数値を優先する)				
		ホルムアルデヒド放散量			
		※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による。			
		・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 [6.5.2]			
		施工箇所	樹 種	寸法(mm)	
				等 級	
				形 状	
				保 存 処 理	
				材面の品質	
		・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 [6.5.2]			
		施工箇所	樹 種	寸法(mm)	
				等 級	
				形 状	
				保 存 処 理	
				材面の品質	
		・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2]			
		施工箇所	樹 種	寸法(mm)	
				等 級	
				形 状	
				含 水 率	
				保 存 処 理	
				材面の品質	
				※1等	
				※10%以下	
				※10%以下	
		・「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2]			
		施工箇所	樹 種	寸法(mm)	
		下地材	桧・杉	特 一	
				特 一	
				特 一	
				造作材の場合 ※A種	
		・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 [6.5.2]			
		施工箇所	樹 種	寸 法 (mm)	
				見付け材面数	
				見付け材面の品質	
				※1等 ・2等	
		・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 [6.5.2]			
		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	
				寸 法 (mm)	
				化粧薄板の厚さ (mm)	
				見付け材面数	
				見付け材面の品質	
				※1等 ・2等	
		・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集材材 [6.5.2]			
		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	
				寸 法 (mm)	
				化粧薄板の厚さ (mm)	
				見付け材面の品質	
特記仕様書(建築改修工事編)(4)					
こ第08033号 子育て支援センターがらふいふ増設2期工事					
		製 図	図 番	A-04	

8 造作用単板積層材	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 [6.5.2]				
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	含水率	見付け材面の品質
				※15%以下	
9 CLT(直交集成板)	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 [6.5.2]				
	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)
					含水率 ※15%以下
10 合板等	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱 [6.5.2]				
	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)
					含水率 ※15%以下
11 木材等の接着剤	・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 [6.5.2]				
	施工箇所	表面の品質		防虫処理	寸法 (mm)
		・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない (・1等・2等・3等)		・する ・しない	備考
12 軽量鉄骨天井下地	・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 [6.5.2]				
	施工箇所	表面の品質		含水率	防虫処理
	カウンターパンチ	・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない (・1等・2等・3等)		※14%以下	・する ・しない
13 軽量鉄骨壁下地	・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]				
	施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)
					樹種
14 ビニル床シート、 ビニル床タイルの 特殊機能	・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質
	・図示	・図示	・1類	・図示	広葉樹 ・1等 ※2等 針葉樹 ※C-D
15 ビニル床シート 張り	・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名
	壁	12.0	・特類 ※1類	・1級 ※2級	※C-D
16 ビニル床 タイル張り	・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理
			・特類 ・1類		・する ・しない
17 ビニル幅木	・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理
		※4.2 ・3.2 ・6.0	・1類 ・2類	・なら ・しおじ	・する ・しない
18 ゴム床タイル	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法
		※4.0	・1類 ・2類	・F ・FW ・W ・SW	
19 カーペット敷き	・パーティクルボード [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性
		※15		※13タイプ	※P又はM
20 合成樹脂塗床	・構造用パネル [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	等級		備考
			・1級 ・2級 ・3級 ・4級		
21 フローリング張り	・メディアムデンシティーファイバーボード (MDF) [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤
					難燃性

11 木材等の接着剤 その他	壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による				
	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 [6.5.5]				
	適用部位	保存処理性能区分			
12 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外 ・19形 ※25形 [6.6.2][表6.6.1]				
	既存の埋込みインサート ・使用する [6.6.3~4]				
	あと施アンカーの引抜き試験 ・行う				
13 軽量鉄骨壁下地	野縁等の種類 屋内 ・19形 ・25形 [6.6.2][表6.6.1]				
	耐風圧性を考慮した補強 ※図示 ・ ()				
	・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合 補強箇所 ※図示 ・ ()				
14 ビニル床シート、 ビニル床タイルの 特殊機能	帯電防止 ・性能評価 (JIS A 1455) 1/2以上~3.2未満 [6.8.2]				
	又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10}$ 程度				
	耐動荷重 JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、摩擦性試験、層間はく離強度試験 (発泡層のあるビニル床シートのみ) 及びキャスター性試験等の試験後、異常がないこと				
15 ビニル床シート 張り	種類の記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)
	FS	図示	・無地 ・マーブル柄 ・柄物 ・メカ仕様	・屋外対応 ・遮熱性 ・防滑性 ・耐薬品性	・2.0 ・2.5
	再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で 15%以上使用されていること。 (PFの場合を除く) 目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 ・ ()				
16 ビニル床 タイル張り	種類の記号	施工箇所	色柄	寸法 (mm)	特殊機能
	・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性
	・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性
17 ビニル幅木	種類の記号	施工箇所	色柄	寸法 (mm)	特殊機能
	・FOA		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防滑性
	・図示	・図示	・無地 ・柄物	・参考型番とする	・帯電防止 ・防滑性
18 ゴム床タイル	再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で 15%以上使用されていること。 [6.8.2]				
	材質の種類	※軟質 ・硬質 [6.8.2]			
	高さ (mm)	・60 ・75 ・100			
19 カーペット敷き	色柄	() ・フラット ・凹凸 [6.8.2]			
	厚さ (mm)	・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0			
	寸法 (mm)	()			
20 畳敷き	・織じゅうたん [6.9.2~3][表6.9.1]				
	種別	バイル形状	帯電性	織り方	色柄等
	・A種 ・B種 ・C種	・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	※人体帯電圧 3kv以下	・ウイットカーペット ・ダブルフェイスカーペット ・7キンスターカーペット (標準品)	・無地 ・柄物
21 フローリング張り	接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ ()				
	下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ()				
	ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による				

22 畳敷き	・タフテッドカーペット				
	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
	・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	※5~7 ※4~6	・全面接着工法 ・グリッパー工法	※人体帯電圧 3kv以下	
23 畳敷き	下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ()				
	・ニードルパンチカーペット 厚さ (mm) () 帯電性 ※人体帯電圧 3kv 以下 ・ ()				
	・タイルカーペット				
24 畳敷き	バイル形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)
	※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5
	・カットバイル ・カット、ループ併用				
25 畳敷き	帯電性 ※人体帯電圧 3kv 以下 ・ () タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き				
	見切り、押え金物 ・適用する (材質、種類、形状等 ※図示 ・ ())				
	種別 [6.10.2][6.10.3][表6.10.4~8]				
26 畳敷き	種類	施工箇所	仕上げの種類		
	・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床材		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ		
	・薄膜型塗床材		※平滑仕上げ		
27 畳敷き	ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による [6.10.2]				
	単層フローリング [6.11.2~6][表6.11.1~5]				
	種類	樹種	厚さ (mm)	大きさ (mm)	間伐材等の適用
28 畳敷き	種類	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用	工法
	・フローリングボード 1等	※なら ・	※15 ・12 ・18	幅 () 長さ ()	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法
	・フローリングブロック 1等	※なら ・	※15 ・	※303×303	・接着工法 ※塗床材 ・無塗床材
29 畳敷き	複合フローリング [6.11.2~6][表6.11.1~5]				
	種類	樹種	種別	厚さ (mm)	間伐材等の適用
	・天然木化粧複合 フローリング	・なら ・松	・A種 ・B種 ※C種	・15 ・12	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法 緩衝材 ※合成樹脂発泡シート
30 畳敷き	ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による [6.12.2][表6.12.1]				
	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床:) [6.12.2][表6.12.1]				
	下地の種類 ・改修標準仕様書 表6.5.8による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G]) ・ ()				
31 畳敷き	ホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による				
	畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。 畳表 高知県土佐畳表検査協会の合格品使用 (3種表の2等以上) ※適用する ・適用しない 畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。				
	特記仕様書 (建築改修工事編) (5)				
ご第08033号 子育て支援センターがらみ増設2期工事					
製図 図番 A-05					

23	せつこうボード、 その他ボード及 び合板張り	[6.1.3.2][表6.1.3.1]								
		種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等						
		・硬質木毛セメント板	G	HW	・15 ・20 ・25					
		・中質木毛セメント板	G	MW	・15 ・20 ・25					
		・普通木毛セメント板	G	NW	・15 ・20 ・25					
		・硬質木片セメント板	G	HF	・12 ・15 ・18 ・21					
		・普通木片セメント板	G	NF	・30					
		○けい酸カルシウム板		0.8 FK 1.0 FK	タイプ2(無糸綿) ○6 ・8					
		・ロックウール化粧吸音板		DR	※フタタイプ(※9(不燃)・12(不燃)・ (不燃))					
		・ロックウール吸音ボード1号		RW-B	※25					
		・ガラス繊維吸音ボード32K		GW-B	※25(ガラスクロス包)					
		・せつこうボード		GB-R	※12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5					
		・不燃積層せつこうボード		GB-NC	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバチン模様)					
		・シーリングせつこうボード		GB-S	12.5(不燃・準不燃)					
		・強化せつこうボード		GB-F	12.5(不燃) ・15(不燃)					
		・せつこうラスボード		GB-L	9.5					
		・化粧せつこうボード(木目)		GB-D	12.5(不燃) 幅440mm程度 模様(※柱目・板目) 専用下地材有り					
		・化粧せつこうボード(トランパシ模様)		GB-D(T)	9.5(準不燃)					
		・普通合板	G		・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(しな合板程度)					
		・天然木化粧合板	G							
		・特殊加工化粧合板	G		・オーバーレイ ・プリント ・塗装					
		・メラミン樹脂化粧合板			JIS K 6903 による 厚さ1.2					
		・ポリエステル樹脂化粧合板								
・ミネラル繊維セメントボード	G	G-MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・無研磨 ・研磨							
・単板張りパーティクルボード	G		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18							
・化粧パーティクルボード	G		・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10(難燃) ・12(難燃)							
・ハードボード(素地)	G	HB	・無研磨板(スタンダード・テンパード) ・研磨板(スタンダード・テンパード)							
・ハードボード(化粧)	G		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7							
・インシュレーションボード	G	A-1B T-1B	A級 ・9 ・12 ・15 ・18							
・火山性ガラス繊維層板化粧加工K2		密度A1	・6 ・9 ・12							
24	壁紙張り	[6.1.3.2]								
遮音シール材 ・適用する(シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)		合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量								
※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による		合板類の張付け ・A種 ※B種				[表6.1.3.3]				
せつこうボードの目地工法 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法										
ホルムアルデヒド放散量		[6.1.4.2]								
※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による										
壁紙の種類		防火性能				備考				
紙 繊維 アスファルト 無機質 その他										
壁		※不燃・準不燃・難燃								
		※不燃・準不燃・難燃								
モルタル・プラスター面の下地調整		※RB種 ・()				[6.1.4.3]				
コンクリート面の下地調整		※RB種 ・()								
せつこうボード面の下地調整		※RB種 ・()								
25	モルタル塗り	[6.1.5.3]								
		モルタル	現場調合材料	既調合材料()						
・カラーモルタル										
吸水調整材及び防水材は 4章 外壁改修工事による。										
既製目地材 ・使用する(施工箇所: 形状:)										
床の目地 ・設ける(工法 ※押し目地)		[6.1.5.6]								
目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度) ・()										
26	タイル張り	[6.1.6.2]								
		伸縮調整目地の位置	() ・図示							
・セメントモルタルによるタイル張り										
タイルの形状、寸法等		[6.1.6.3]								
施工箇所		形状寸法 (mm)	再生材の 適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑 り性	備考
			G	I類 II類 III類	施ゆう 無ゆう	有 無	標準 特注	あり なし		
役物使用箇所 ※各部の形状は図示による										
内装		出隅、天端								
見本焼き ・行う ・行わない		[6.1.6.3]								
試験張り ・行う ・行わない										
・有機系接着剤によるタイル張り		[6.1.6.3]								
タイルの形状、寸法等										
施工箇所		形状寸法 (mm)	再生材の 適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑 り性	備考
			G	I類 II類 III類	施ゆう 無ゆう	有 無	標準 特注	あり なし		
役物使用箇所 ※各部の形状は図示による										
内装		出隅、天端								
見本焼き ・行う ・行わない		[6.1.6.3]								
試験張り ・行う ・行わない										

27	セメント系 材塗り	種類 ・せつこう系 ・セメント系		[6.1.7.2][表6.1.7.1]				
		塗厚 (10) mm		[6.1.7.3]				
28	漆喰塗	・ローラー仕上げ(2回塗) 専用下地シート張り 株式会社フタクリンジャパン フェザーフィル 同等品						
7	塗装 改修 工事	1 材料				[7.1.3]		
		建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量						
		※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による						
		防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。						
		・次の箇所を除き防火材料とする(箇所						
)						
)						
)						
)						
)						
2	下地調整	既存塗膜の除去範囲(塗替えでRB種の場合)				[7.2.1][表7.2.1~7]		
		※塗替え面積の30% ・図示						
		下地調整 [7.2.2~7][表7.2.1~7]						
		下地面の種類		下地調整の種類別				
				ひび割れ部の補修				
		塗替え		新規				
木部		※RB種 ・		RA種 ・RB種				
鉄鋼面		※RB種 ・		RA種				
垂鉛めっき鋼面		※RB種 ・		RA種				
垂鉛めっき鋼面(鋼製建具等)		※RB種 ・		RC種				
モルタル面、プラスター面		※RB種 ・		RA種 ・RB種				
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面		※RB種 ・		RA種				
コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面		-		RA種				
せつこうボード面、その他ボード面		※RB種 ・		RA種 ・RB種				
3	錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種類				[7.3.2~3][表7.3.1~4]		
		塗装面		塗料		工程		
鉄鋼面		屋内(EP-G以外)		塗替え		※A種	※C種	
		屋外		新規鉄鋼面見え掛り		鉛・クロムフリー	※A種	
				新規見え隠れ		錆止めペイント1種	※B種	
		屋内(EP-G)		塗替え		※B種 ・A種	※C種	
				新規鉄鋼面見え掛り		※B種 ・A種	※A種	
				新規見え隠れ		※B種 ・A種	※B種	
垂鉛めっき鋼面		屋内(EP-G以外)		塗替え		※A種 ・B種	※C種	
		屋外		新規鋼製建具等		※A種 ・B種	※A種	
		屋内(EP-G)		塗替え		C種	※C種	
				新規鋼製建具等		C種	※A種	
4	塗装	[7.4.2~7.1.4.2][表7.4.1~7.1.4.1]						
		塗装の種類		塗装面		工程		
・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)		木部(外部)		※B種 ・		※A種		
		木部(内部)		※B種 ・		※B種		
		鉄鋼面		※B種 ・		A種 ・B種		
		垂鉛めっき鋼面(鋼製建具)		※A種 ・		※B種		
		垂鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)		※B種 ・		※B種		
・クリアラー塗り (GL)		木部		A種 ※B種		A種 ※B種		
・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		木部(内部)、鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面		-		-		
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		屋内のコンクリート面、モルタル面		※B種 ・		※B種		
・耐候性塗料塗り (DP)		鉄鋼面 上塗り		A種 ・B種		A種		
		1級 ・2級 ・3級		C種				
		垂鉛めっき鋼面 上塗り		A種 ・B種		A種		
		1級 ・2級 ・3級		C種				
		コンクリート面		A-1種 ・A-2種		A-1種		
				B-1種 ・B-2種		B-1種		
				C-1種 ・C-2種		C-1種		
		押出成形セメント板面		A-1種 ・A-2種		A-1種		
				B-1種 ・B-2種		B-1種		
				C-1種 ・C-2種		C-1種		
・つや有り合成樹脂		コンクリート面		※B種 ・		A種 ・B種		
エマルジョンペイント塗り (EP-G)		モルタル面		※B種 ・		A種 ・B種		
		プラスター面		※B種 ・		A種 ・B種		
		せつこうボード面		※B種 ・		A種 ・B種		
		屋内木部		※B種 ・		※A種		
		屋内鉄鋼面		※B種 ・		A種 ・B種		
		屋内垂鉛めっき面		※B種 ・		A種 ・B種		
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		コンクリート面		※B種 ・		A種 ・B種		
		モルタル面		※B種 ・		A種 ・B種		
		プラスター面		※B種 ・		A種 ・B種		
		せつこうボード面		※B種 ・		A種 ・B種		
		屋内コンクリート面、モルタル面、プラスター面		※B種 ・		A種 ・B種		
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		木部		A種 ※B種		A種 ※B種		
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UG)		木部		-		-		
・オイルステイン塗り (OS)		木部		-		-		
・木材保護塗料塗り (WP)		木部		A種 ※B種		A種 ※B種		
・アクリルエマルジョン弾性塗料								
5	床用防じん塗料 塗り	材質				水性アクリル系樹脂塗料(※標準色)		
		仕上種別		コーティング(ローラー刷毛塗り)				
		塗布量				主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/m2以上とする		

8	耐震改修工事 共通事項	1 適用範囲		耐震改修工事以外については、新営特記仕様書を適用とし別途記載を行う。			
		工事内容		<ul style="list-style-type: none"> 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 鉄骨ブレースの増設工事 柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) 柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) 連続繊維補強工事 耐震スリット新設工事 免震改修工事 制振改修工事 土工事及び地業工事 			
8-1	鉄筋工事	2 既存部分の処理等		既存構造体の撤去 [8.2.1.2~3][8.2.2.2~3][8.2.3.2~3] 撤去範囲 () ・図示 [8.2.4.4][8.2.5.2] はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 () ・図示 既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 ・既存柱、梁面 打継ぎ面の15~30%程度 ・既存壁 打継ぎ面の10~15%程度 ・() 既存構造体コンクリート面の目荒らしの範囲 ・平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を、全体にわたってつける。 ・() 既存杭の撤去等 [8.2.8.2] 撤去範囲及び方法 () ・図示 杭頭部の処理 () ・図示 既存杭の補強 () ・図示 既存杭の健全性を確認する試験 ・行う(方法: () ・図示) ・行わない			
		1 鉄筋		鉄筋の種類等 [8.2.1][表8.2.1]			
		種類の記号		呼び径(mm)		備考	
		SD295A		D10 D13			
		SD345					
2 溶接金網		形状等		[8.2.2]			
		種類		種類の記号		網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
		溶接金網		6φ 100×100			
		鉄筋格子					
3 鉄筋の継手		継手方法等		[8.3.4][8.4.2、3]			
		部 位		継手方法		呼び径(mm)	
		柱・梁の主筋		※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手			
		耐力壁の鉄筋		※重ね継手			
		その他の鉄筋()		※重ね継手			
4 鉄筋の定着長さ		主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ		[8.3.4]			
		・構造関係共通図(配筋標準図)3.1(a)による					
		・フックのありなしにかかわらず、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と、					
		構造関係共通図(配筋標準図)3.1(a)表3.1の重ね継手長さのうち大きい値とする					
		・図示					
		継手位置図		[8.3.4]			
		・構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による					
		・図示					
5 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (溶接金網含む)		最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)		[8.3.5]			
		・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1による					
		・図示					
		柱及び梁の主筋(φ29以上の使用の有無)					
		・無し					
		・有り 適用箇所()					
		最小かぶり厚さ					
		・鉄筋径の1.5倍以上					
		・()					
		軽量コンクリートで土に接する部分					
		・無し					
		・有り 適用箇所()					
		・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加える厚さ ()mm					
		・()					
		耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)					
		・無し					
		・有り 適用箇所()					
		・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加える厚さ ()mm					
		・()					
		鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く)		[8.3.5][図8.3.5]			
		・構造関係共通図(配筋標準図)4.1による					
		・図示					
特記仕様書(建築改修工事編) (6)							
ご第08033号 子育て支援センターがらみ増設2期工事							
製 図							
図 番 A-06							

杭頭の処理
 ・処理しない
 ・処理する
 処理方法（切断にともなう補強方法含む）
 ・（ ） ・図示
 杭頭の中詰め材料
 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・（ ）

杭の精度
 ・水平方向の位置ずれ
 ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・（ ）
 ・杭の傾斜
 ・1/100以内 ・（ ）

記録する施工状況等
 ・（ ） ・図示

6 砂利及び砂地業 [8.2.15]
 材料
 砂利 ※再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石
 砂 ・シルト ・山砂、川砂又は砕砂
 厚さ 60mm ・（ 100 ）mm [8.2.8.4]

7 捨コンクリート [8.1.1.1][8.2.8.4]
 捨コンクリートの厚さ
 ・50mm ・（ 30 ）mm
 設計基準強度
 ・18N/mm² ・（ ）N/mm²
 スランプ
 ・15cm ・18cm ・（ ）cm

9 環境配慮改修工事

1 石綿含有建材の処理工事 [9.1.1]
 施工調査
 ・石綿含有建材の事前調査
 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
 ・分析による石綿含有建材の調査
 分析結果については、監督職員に報告すること

材料名	定性分析	定量分析
・	・	・
・	・	・
・	・	・

石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]
 測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 箇所
・	測定2		調査対象室外部の付近	計 箇所
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 箇所
・	測定4		セキュリティゾーン入口	計 箇所
・	測定5		集じん・排気装置の排出口吹出し口(処理作業室外)	計 箇所
・	測定6		処理作業室外(敷地境界)(施工区画周辺)	計 箇所
・	測定7	処理作業後(7日養生中)	処理作業室内	計 箇所
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	計 箇所
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 箇所

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パネティックカクタ繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファンモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

	測定4.5	測定()	測定()
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	47	47
試料の吸引流量(l/min)	5	10	10
試料の吸引時間(min)	30	120	240

石綿含有建材の処理 [9.1.3]
 ・石綿含有吹き付け材の除去
 除去対象範囲 ・（ ） ・図示
 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・（ ）
 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止 ※湿潤化 ・図形化
 除去した石綿含有吹き付け材等の処分
 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去 [9.1.4]
 除去対象範囲 ・（ ） ・図示
 除去工法 ・破碎して除去 ・原型のまま手ばらし
 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・図形化
 除去した石綿含有保温材等の処分
 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板の除去 [9.1.5]
 除去対象範囲 ・（ ） ・図示
 除去した石綿含有成形板の処分
 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場)
 ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ・（ ） ・図示

2 外断熱改修工事 [9.3.2~4]
 断熱材の種類及び厚さ ・（ ） ・図示
 外装材の種類及び防火性能 ・（ ） ・図示
 既存外壁の処置及び工法 ・（ ） ・図示

3 断熱・防露改修工事 [9.5.2]
 ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を [9.5.2]
 使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量
 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による
 ・断熱材打込み工法 ・断熱材後張り工法 [9.5.2]

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法 [※] リシレンフォーム断熱材		
※押出法 [※] リシレンフォーム断熱材		
・硬質ウレタンフォーム断熱材		
・フェノールフォーム断熱材		
・グラスウール	24K	壁:50mm 天井:100mm

・断熱材現場発泡工法 [9.5.3]
 断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H
 厚さ(mm) ・25 ・30 ・（ ）
 施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
 ・図示

4 屋上緑化改修工事 [9.6.2~4]
 植栽基盤及び材料
 ※屋上緑化軽量システム
 芝及び地被類の種類等 ・（ ） ・図示
 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・（ ） ・図示
 かん水装置 ・設置する(種類 ・（ ）) (工事区分は図示による)
 既存保護層の撤去 ・行う
 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し ・（ ）

5 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2~5、9]
 既存舗装の撤去及び再利用 ・（ ） ・図示
 路床の材料 厚さは図示による
 ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利
 ・フィルター層 ※砂
 路床安定処理 ・行う
 ※添加材料による安定処理
 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 [G]
 ・高炉セメントB種 [G]
 ・生石灰() ・消石灰()
 添加量 kg/m³ (目標CBR ※3以上 ・（))
 目標CBRを満足する添加量の確認方法
 安定処理土のCBR試験 ・（)
 ・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m²以上
 厚さ(mm) 0.5~1.0
 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
 浸水係数 1.5×10⁻¹ cm/sec以上

盛土の種類別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]
 C種の場合、建設発生土受入量() m³発生場所:
 D種の場合は「セメント及びセメント系固結材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」により、六価クロム溶出試験を行う。

砂の粒度試験 ※行う ・行わない
 路床土の支持力比(CBR)試験 ※行う ・行わない
 路床の締固め試験 ※行う ・行わない
 現場CBR試験 ※行う ・行わない
 発生土の処理 ※構外搬出適切処理
 「建設発生土情報交換システム」を活用し、適切に処理する
 搬出調書を監督職員に提出する
 受入施設名:
 受入場所:
 受入条件 ・交通整理員
 ・鉄板敷
 ・土質試験
 ・構内指定場所に敷き均し
 ・構内指定場所に堆積

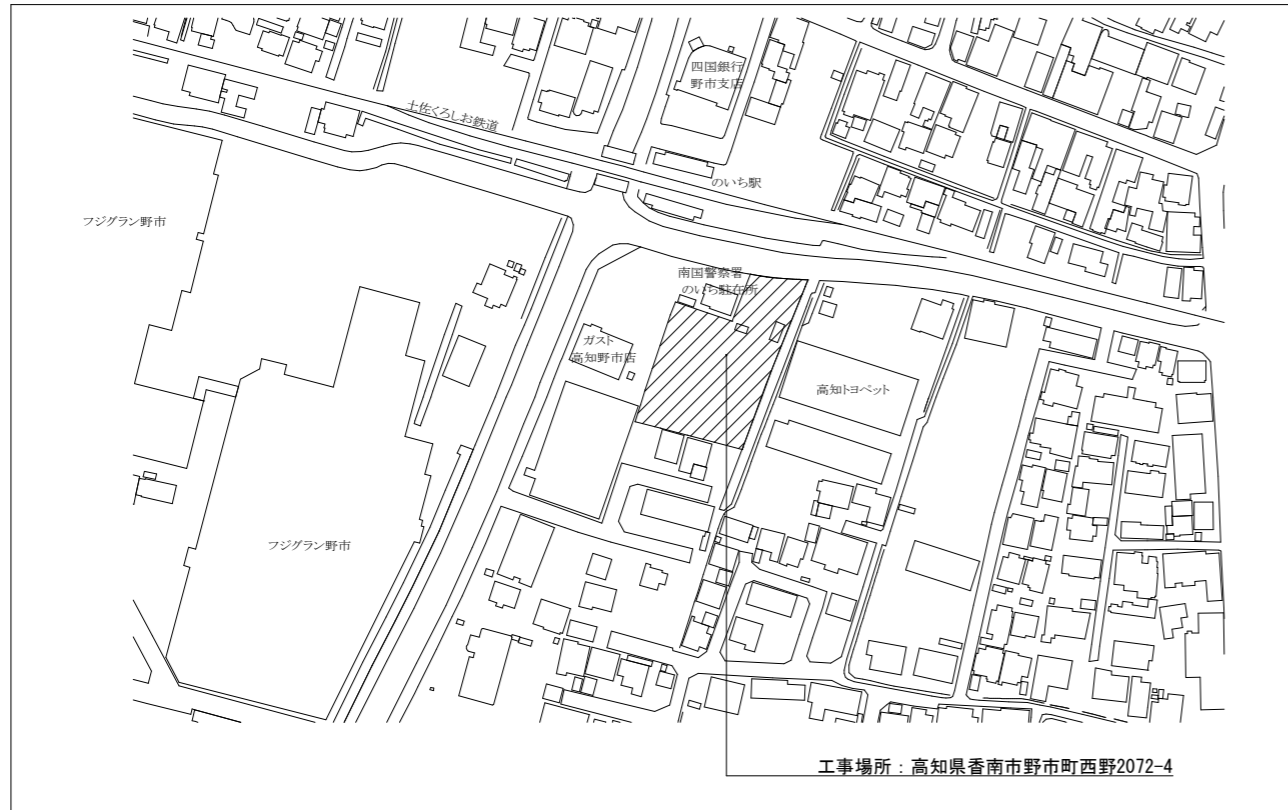
路盤の厚さ(mm) ・（ ） ・図示
 路盤材料 ・碎石(・クラッシュラン ・粒度調整砕石)
 ・再生材(・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G])
 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]
 ・粒度調整鉄鋼スラグ [G]
 ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]

舗装の構成 ・（ ） ・図示
 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ※行う ・行わない

特記仕様書(建築改修工事編)(7)

こ第08033号 子育て支援センターがらふいふ増設2期工事

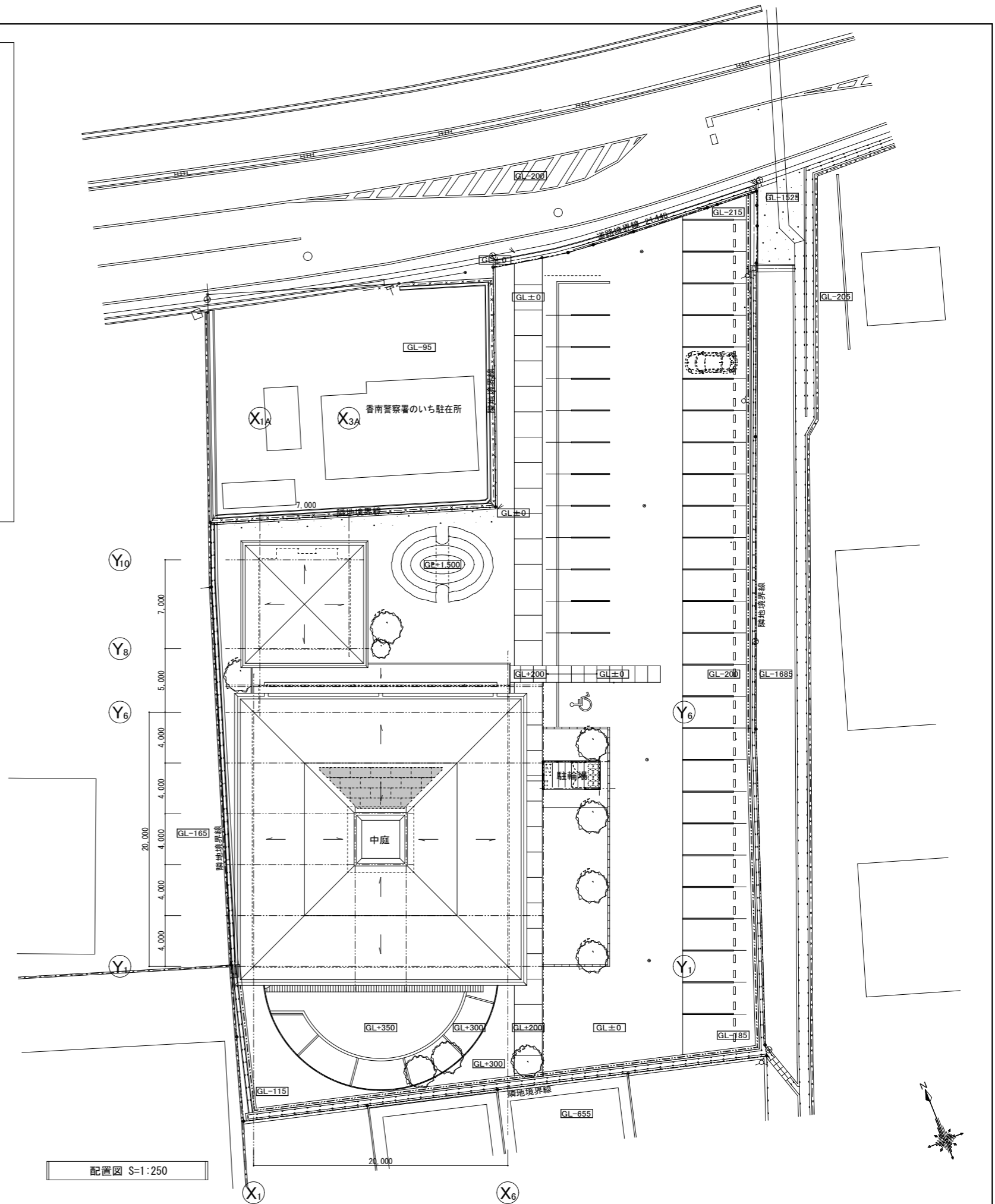
製 図 図 番 A-07



工事場所：高知県香南市野市町西野2072-4

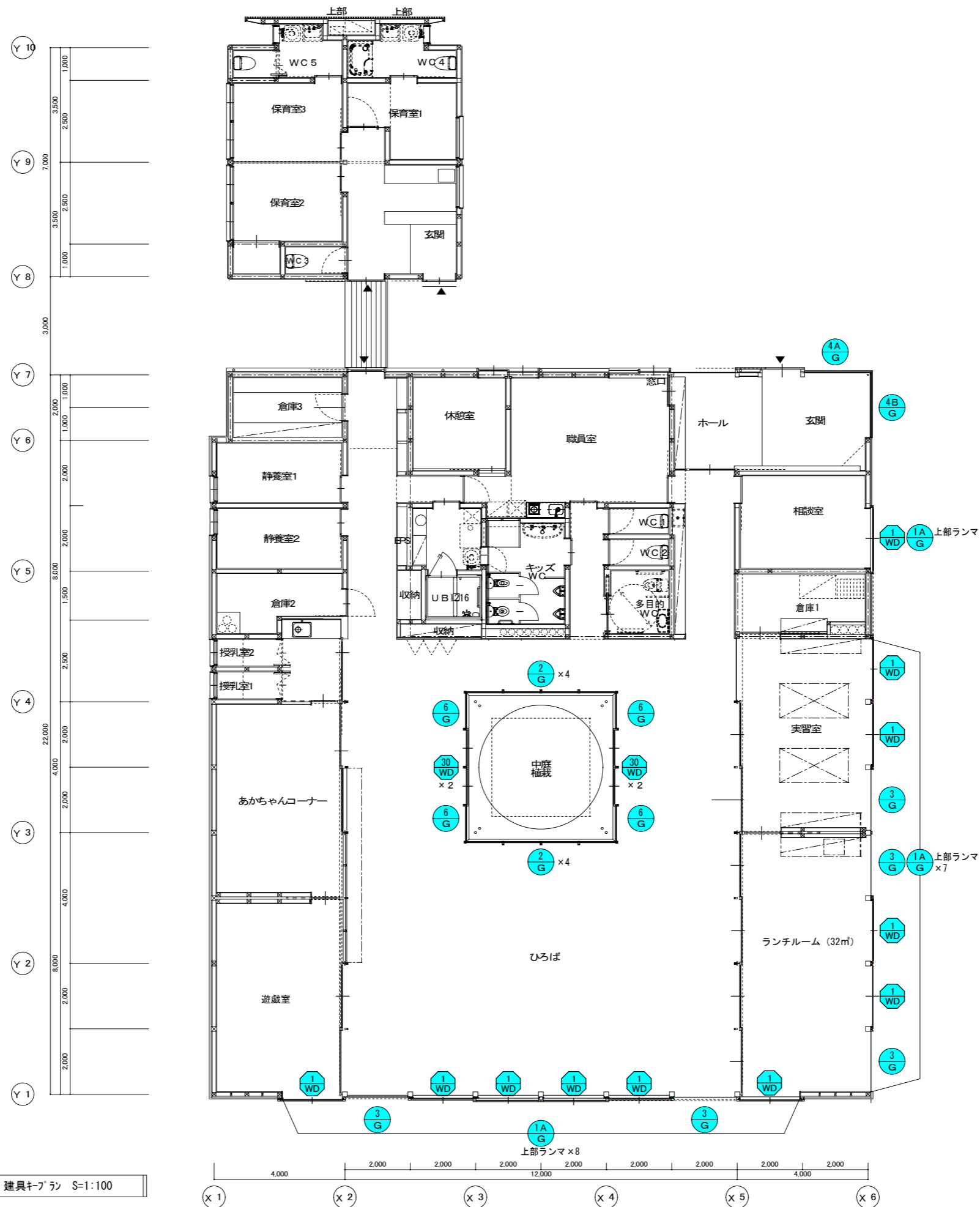
附近見取図 S=1:2000

工事の時間帯について：本工事は当該施設を運営しながらの工事となるため、土曜日及び日曜日、祝日のみを施工可能期間とし、
 休み明けの平日には通常通りの運営が行えるようにする。
 工事可能時間 8:30~17:00を基本とする。



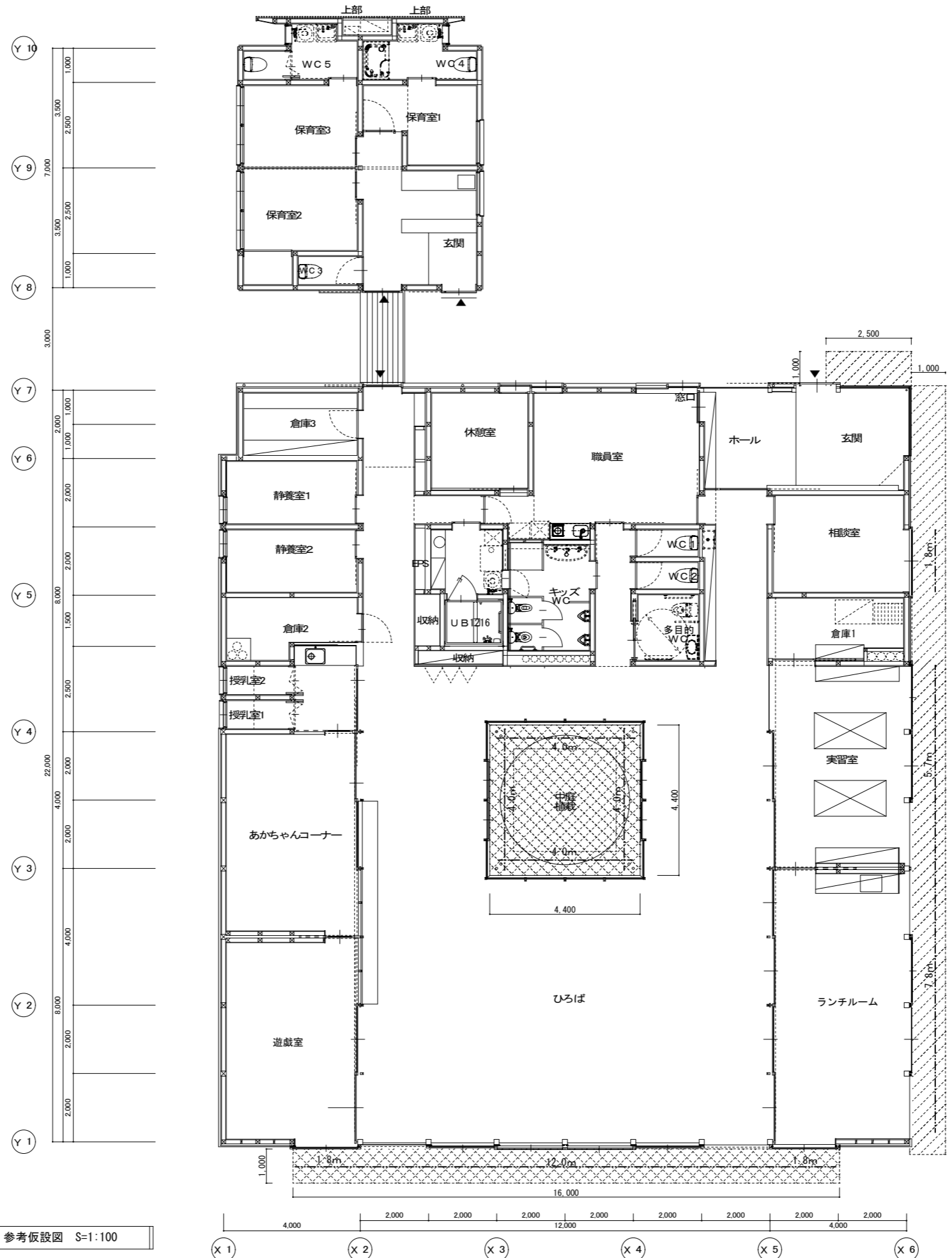
配置図 S=1:250

特 記	凡	工 事 名	ご第08033号 子育て支援センターがらみフィルム増設2期工事		
	例	意 匠 図	配置図・附近見取図		
		製 図	2025. 08. 24	縮 尺	S=1:250・2000
		検 印		図 番	A-08



●・・・外貼用飛散防止フィルム施工箇所を示す

特 記	工 事 名	こ第08033号 子育て支援センターガラスフィルム増設2期工事			
	意 匠 図	建具キープラン			
	2026. 05. 01	縮 尺	S=1:100	図 番	A-9
		製 図	検 印		



参考仮設図 S=1:100

- ... 清掃範囲を示す
- ... 養生範囲を示す
- ... 脚立足場(直列)を示す

特 記		凡 例		製 図	検 印	工 事 名	こ第08033号 子育て支援センターガラスフィルム増設工事			
	意 匠 図		参考仮設図							
						2026. 05. 01	縮 尺	S=1:100	図 番	A-11